

平成31年度
加茂第二堤防護岸工事

施工／井上組
(徳島県つるぎ町)

3次元データの積極活用を推進



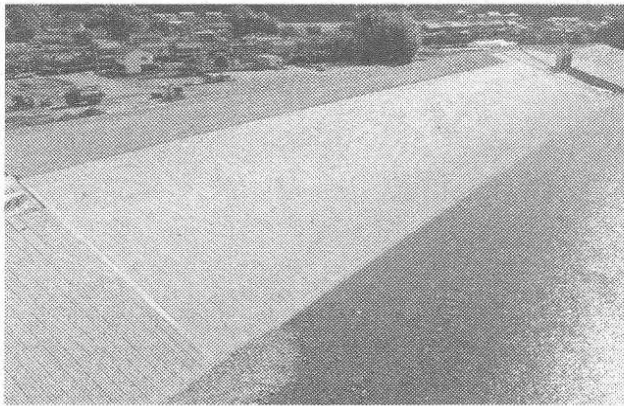
現場代理人
浦岡知範氏

吉野川の氾濫で浸水被害を防止するための築堤護岸。10月5日に完成検査を終えた。河川工事では出水対策が大きな課題となる。まず水深や地形を図るため音波を使い起工測量を実施。その結果、水深2.5m以上

上の箇所や川底がえぐられていたり横断面との差異が判明した。当初の計画では土砂をしい水を止める予定だったが、万全の安全対策のため仮設の矢板工を発注者に提案する。さらに協議し盛土を2分割しながら作業を進めるなど、ロスが発生しないよう工程の工夫を試みた。

工事はICT施工で、同社では初めて3次元データを作成した。横断面と平面図から3次元データを作成しICT建機の施工すべての工程に活用。丁張りなどヒューマンエラーが軽減された。さらに施工管理や発注者へのプレゼンにも大いに役立つ。今後、ICT施工は大規模工事から小規模工事に拡大する方針だ。

浦岡氏は「MC建機の施工だけがICT施工ではない。3次元データを活用することで、これまでの土木の概念が覆せる」と強調する。



総合建設業
INOUE 株式会社 井上組

代表取締役 井上 惣介

本社 徳島県美馬郡つるぎ町半田字西久保342-3
〒779-4403 TEL (0883) 64-3133 FAX (0883) 64-3986
ホームページ: <https://inouegumi.net>
ブログ: <http://ameblo.jp/inouegumi/>

【工事概要】

- 発注者／国土交通省徳島河川国道事務所
- 施工場所／徳島県東みよし町加茂地先
- 工期／2019年6月4日～2020年9月30日
- 概要／築堤盛土4万1900㎡、平ブロック張5678㎡、植生工1390㎡、基礎工157㎡、根固工534㎡、重力式擁壁228㎡等

建通新聞

「四国4県の地域基盤整備～現場を見る～」

2020年11月17日付 掲載